

小学部第4学年 国語科学習指導案

指導者 高橋 誠

1 単 元 名 「いろんなことばをいおう！」

2 日 時 令和6年11月14日（木） 6校時

3 「伝える力」目指す子どもの姿

- (1)身振りなどを交えながら、相手に要求などを分かりやすく伝えられるようにする。
- (2)単語や2語文程度で相手に伝えられるようにする。

4 学習指導要領との関連

本児童は、特別支援学校学習指導要領国語の小学部1段階に沿って指導を行っている。

「知識及び技能」

1段階の目標では、「日常生活に必要な身近な言葉が分かり使うようになる」と設定されている。児童の身近な言葉として、「教科の名称」や「児童生徒や先生の名前」を言えるようになったり、文字を見て理解できるようになったりすることから、言葉を理解させ、日常生活に活かしていくことを目標としている。

「思考力、判断力、表現力」

1段階の目標では、「日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができるようにする」と設定されている。日常生活では、明瞭に発音をすることが難しいながらも、発声したり身振りを使ったりして、他者に思いを伝えることができるようになってきている。日常生活で、思いや要求の仕方の幅を上げられるようにするとともに、語彙を増やし、他者へいろんな思いや要求を伝えられるようにしていきたいと考える。

「学びに向かう力、人間性等」

1段階の目標では、「言葉を使おうとする態度を養う」と設定されている。授業や日常生活で、発声する場面が増えてきたので、本児童の発声しようとする意欲を大切にしながら、発声する場面を多く設定する。

5 視覚的配慮について

- ・書見台などを設置し、児童が教材やiPadの画面を見やすいようにする。
- ・iPadで授業の流れを提示する。
- ・ひらがなカードは立体コピーで印刷したものを使用し、指でなぞりやすいようにする。

6 本時の目標

知識及び技能	日常生活に必要な身近な言葉が分かる。
思考力、判断力、表現力	人との関わりを通して、伝え合うことができる。
学びに向かう力、人間性等	積極的に言葉を使おうとする。

7 本時の展開 *伝える力指導場面を枠囲い

	○学習活動	□留意点等
導 入	○はじめのあいさつ ・児童があいさつをする。 ○学習内容の確認 ・iPadの画面を見て、学習内容の確認をする。	□iPadの画面に書かれてある文字を見て、児童にあいさつをするように促す。 □iPadの画面を見せ、1つ1つの学習内容を児童に確認させる。
展 開	1 たいそう ・息を吹き、小さな的を倒す。	□できるだけ息を吹いて的を倒せるようにするために、的的配置などを児童から遠くに設定する。
	2 よみきかせ ・自分で本を手に取り、文字や絵を見たり、ページをめくったりして、2分間読書する。 ・教員と一緒に声に出して読んだり、イラストを注視したりする。	□読んでいる文字や絵を指でなぞって読む。 □活動に参加している実感をもたせるため、児童にページめくりをするように促す。
	3 まっちゃんぐ ・児童生徒や先生の写真を見て、名前を呼んだり名札を選んだりする。	□1人ずつ写真を提示し、名前の確認をするように促す。
	4 ひらがなよみ ・1行の文字を指でなぞったり教員と一緒に読んだりする。	□1行5文字を提示し、2分程度自分で文字を指でなぞったり、読んだりするように促す。 □2分経ったら、教員と一緒に1文字ずつ取り組む。
	5 せんなぞり ・薄い縦の線や横の線をなぞる。	□教員が児童の後ろに行き、えんぴつを一緒に持つ。その際、持ち方を一緒に確認する。
終 末	○振り返り ・一番頑張った学習内容を1つ選ぶ。	□iPadの画面を見せ、自分が頑張った学習内容をタッチするように促す。
	○おわりのあいさつ ・児童があいさつをする。	□iPadの画面に書かれてある文字を見て、児童にあいさつをするように促す。

8 授業を振り返って（本時の評価）

○評価項目

知識及び技能	日常生活に必要な身近な言葉が分かることができたか。
思考力、判断力、表現力	人との関わりを通して、伝え合うことができたか。
学びに向かう力、人間性等	言葉を使おうとすることができたか。